

排泄委員会実績

月	計 画	実 績
4月	・排泄介助(トイレ誘導・オムツ交換)の時間の見直し ・尿路感染症予防、皮膚の状態観察に努める	・利用者の排泄状況の確認を行い、使用しているパッドが適しているか検討した。検討結果に基づきオムツ交換表を見直した。 ・排泄状況や皮膚の状態を観察し尿混濁や皮膚トラブル等認めた際は、看護職員、医師へ報告した。
5月	・排泄量の少ない方を対象に原因を調査 ・排泄状況(尿色、便の形状など)を観察し、看護職員と連携を図る	・排便困難となっている利用者を対象に原因を検討した。 ・排泄状況(尿色、便の形状など)を観察し看護職員と連携を図り医師へ報告した。
6月	・オムツ交換時間や尿取りパッドの種類を見直し、皮膚トラブルの予防に努める	・利用者の排泄状況の確認を行い、使用しているパッドが適しているか検討した。検討結果に基づきオムツ交換表を見直した。 ・オムツ交換時には主に皮膚の状態観察をおこない、皮膚トラブルがないか確認をした。
7月	・排泄介助(トイレ誘導・オムツ交換)の時間の見直し ・尿路感染症予防、皮膚の状態観察に努める	・利用者の排泄状況の確認を行い、使用しているパッドが適しているか検討した。検討結果に基づきオムツ交換表を見直した。 ・排泄状況や皮膚の状態を観察し尿混濁や皮膚トラブル等認めた際は、看護職員、医師へ報告した。
8月	・排泄量の少ない方を対象に原因を調査 ・排泄状況(尿色、便の形状など)を観察し、看護職員と連携を図る	・排便困難となっている利用者を対象に原因を検討した。 ・排泄状況(尿色、便の形状など)を観察し看護職員と連携を図り医師へ報告した。
9月	・オムツ交換時間や尿取りパッドの種類を見直し、皮膚トラブルの予防に努める	・利用者の排泄状況の確認を行い、使用しているパッドが適しているか検討した。検討結果に基づきオムツ交換表を見直した。 ・オムツ交換時には主に皮膚の状態観察をおこない、皮膚トラブルがないか確認をした。
10月	・排泄介助(トイレ誘導・オムツ交換)の時間の見直し ・尿路感染症予防、皮膚の状態観察に努める	・利用者の排泄状況の確認を行い、使用しているパッドが適しているか検討した。検討結果に基づきオムツ交換表を見直した。 ・排泄状況や皮膚の状態を観察し尿混濁や皮膚トラブル等認めた際は、看護職員、医師へ報告した。
11月	・排泄量の少ない方を対象に原因を調査 ・排泄状況(尿色、便の形状など)を観察し、看護職員と連携を図る	・排便困難となっている利用者を対象に原因を検討した。 ・排泄状況(尿色、便の形状など)を観察し看護職員と連携を図り医師へ報告した。
12月	・オムツ交換時間や尿取りパッドの種類を見直し、皮膚トラブルの予防に努める	・利用者の排泄状況の確認を行い、使用しているパッドが適しているか検討した。検討結果に基づきオムツ交換表を見直した。 ・オムツ交換時には主に皮膚の状態観察をおこない、皮膚トラブルがないか確認をした。
1月	・排泄介助(トイレ誘導・オムツ交換)の時間の見直し ・尿路感染症予防、皮膚の状態観察に努める	・利用者の排泄状況の確認を行い、使用しているパッドが適しているか検討した。検討結果に基づきオムツ交換表を見直した。 ・排泄状況や皮膚の状態を観察し尿混濁や皮膚トラブル等認めた際は、看護職員、医師へ報告した。
2月	・排泄量の少ない方を対象に原因を調査 ・排泄状況(尿色、便の形状など)を観察し、看護職員と連携を図る	・排便困難となっている利用者を対象に原因を検討した。 ・排泄状況(尿色、便の形状など)を観察し看護職員と連携を図り医師へ報告した。
3月	・オムツ交換時間や尿取りパッドの種類を見直し、皮膚トラブルの予防に努める	・利用者の排泄状況の確認を行い、使用しているパッドが適しているか検討した。検討結果に基づきオムツ交換表を見直した。 ・オムツ交換時には主に皮膚の状態観察をおこない、皮膚トラブルがないか確認をした。
評価	・失禁する頻度の高い方に対し、各部署で誘導時間を見直し改善に努めた。 ・排泄状況に合わせて尿取りパットの種類やオムツ交換時間を見直したことで、オムツ内を清潔に保つことが出来た。 ・看護、介護職員で排泄状況について意見交換を行い、排尿量の少ない方や頻尿の方は速やかに医療機関を受診するなど、適切に対応する事が出来た。 ・オムツ交換の際や入浴介助時に陰部や臀部の皮膚観察を入念に行う事で、悪化する前に予防する事が出来た。	